

事務事業名	地域振興事務事業 丸岡		事業コード	02010150101		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801		記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民、観光客を対象としています。					
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容		
根拠法令	有	地方自治法				
根拠例規	有	地域自治区の設置に関する協議書、坂井市寄付による市民参画条例				
関連計画・マニュアル	無					

【事業の概要】

地域自治区の区域に係ることや、丸岡支所が掌握する事務について、地域住民の意見を反映させ、住民と行政の協働のまちづくりを推進することを目的とします。

●地域振興事務事業
地域自治区の区域内に係ること、丸岡支所が掌握する事務について協働のまちづくりを推進するため実施します。

事業の目的・事業の概要等

報償費	地域協議会視察謝礼	3千円	
旅費	地域協議会委員費用弁償	53千円	
	まつり延岡参加旅費	76千円	
需用費	地域協議会事務費・会議経費	97千円	
委託料	手作り鎧兜制作委託料	368千円	
使用料及び賃借料	地域協議会バス借上料	113千円	
原材料費	手作り鎧兜制作材料費	721千円	
負担金、補助及び交付金			
	丸岡まつり振興会事業補助金		600千円
	丸岡古城まつり事業補助金	6,000千円	
	丸岡自治区スポーツレクリエーション祭補助金	1,200千円	
	協働のまちづくり事業交付金	14,300千円	

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	一般管理費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
			報酬	千円	千円	千円	千円			
			委託費	368千円	千円	千円	千円			
			需用費	98千円	66千円	千円	千円			
			役務費	千円	千円	千円	千円			
			その他	8,766千円	8,152千円	千円	千円			
	事業費合計	9,232千円	8,218千円	千円	千円					
	人件費	正職員	0.97人	6,896千円	1.17人	8,318千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	1.00人	2,052千円	1.00人	2,000千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	1.97人	8,948千円	2.17人	10,318千円	人	千円	人	千円
総事業費		18,180千円	18,536千円	千円	千円					
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円				
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
		地方債	千円	千円	千円	千円				
		その他	千円	千円	千円	千円				
	一般財源	18,180千円	18,536千円	千円	千円					
財源合計	18,180千円	18,536千円	千円	千円						

	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	古城まつり参加および人数（	人	目標値	1500	達成率 1500	達成率 1000	達成率 1000	
			実績値	2100	140	1800	120	1700
成果	地域協議会市長への提言書提出回数	回	目標値	1	達成率 1	達成率 1	達成率 1	
			実績値	0	0	1	100	0
活動	古城まつり協賛金の全体事業費に対する割合	%	目標値	40	達成率 36	達成率 38	達成率 38	
			実績値	47	117.5	39	108.33	44
活動	地域協議会会議回数	回	目標値	12	達成率 12	達成率 12	達成率 12	
			実績値	6	50	10	83.33	12
活動	丸岡自治区スポーツレクリエーションの参加人数	人	目標値	1000	達成率 1000	達成率 1000	達成率 1000	
			実績値			1051	105.1	
活動			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

すぐに行ける改善提案	古城まつりについては実行委員会事務局を順次実行委員に移管し、市民との協働によりまつりを盛り上げていきます。公民館のコミュニティセンター化を進めるべくまちづくり協議会や区長会等の関係団体との協議を進めていきます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	平成25年度同様26年度の古城まつりの充実及び活性化を図ることを目的として、「丸岡古城まつりもりあげ隊」を発足し、市民主導のまつりを進めています。また、地域づくりについて、まち協と区長会、公民館の合同会を開催し協議を進めています。
中長期的に取り組むべき改善提案	古城まつりの40数年の伝統を守り、更に末永く続く祭りとするため、実行委員会を充実させていきます。また、丸岡域を広く全国に発信するために観光ボランティアガイドの育成、寄付市民参画について啓発していきます。まちづくり協議会については、若年層の後継者育成に努め、しっかりとした基盤づくりに努めます。
目標年度 平成28 年度	
取組状況	ゆるキャラ「たけだ桜ちゃん」や鎧兜を制作し、各イベントでの使用によって観光PRを進めています。

【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	丸岡自治区の活性化のため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	古城まつりについては実行委員会の自主的活動が高まっていくよう組織力の強化を図り、まちづくり協議会の活動が活発化していくよう勤めていきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行ける改善提案	古城まつりの実行委員会を強化し、まつりを盛り上げていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	まちづくり協議会が中心となった活動を進めていく上で、各種イベントを古城まつり等も含めて丸岡地区全体の			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

事務事業名	寄附市民参画基金事業 丸岡			事業コード	02010635116
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	坂井市丸岡自治区の域内に暮らす住民				
総合計画	基本構想	住民とともに育むまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	住民と行政の協働によるまちづくりの推進		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有	坂井市寄付による市民参画条例			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】	地域自治区の特徴あるまちづくりに当該寄付金を充てる。				
	市民からの寄付金を用いた丸岡自治区独自の特色あるまちづくりに寄与するための事業として、「丸岡桜まつり」、「竹田しだれ桜まつり」を盛り上げるためのゆるキャラ「たけだ桜ちゃん」及びコマース制作、また、丸岡観光ボランティアガイドの活動の促進のための活動拠点の改修と備品等の購入を行う。				
【事業の目的・事業の概要等】	印刷費 観光パンフレット印刷費 85千円 需用費 詰所修繕料 419千円 委託料 TVコマース制作委託料他 636千円 備品購入費 「たけだ桜ちゃん」着ぐるみ購入他備品購入 1,847千円				

すぐにできる改善提案	平成23年度から平成25年度までの基金（3,000,000円）を用いた本事業は、平成25年度で完了しました。
目標年度 平成25年度	
取組状況	平成25年度事業完了
中長期的に取り組むべき改善提案	丸岡城を中心として丸岡地区を全国的に発信する事業として広く市民に周知する必要がある。
目標年度 平成28年度	
取組状況	継続中

【前年度改善案に対する取組状況】

【妥当性】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【効率性】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	総務費	項	総務管理費	目	企画費				
【コスト】	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	635千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	527千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	1,846千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	3,008千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.07人	498千円	人	千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.07人	498千円	人	千円	人	千円	人	千円
総事業費		3,506千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	その他	3,000千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	一般財源	506千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
財源合計	3,506千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円			

事業の方向性	改善して継続します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	平成25年度の「観光地丸岡を全国に発信する事業」は完了しました。引き続き「一筆啓上の町丸岡を全国に発信する事業」を検討していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民からの寄付を有効活用するためには、引き続き市が実施主体で継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	市民からの寄付金により運用していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成28	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
すぐにできる改善提案	次の目標は決まっていますが、地域協議会や関連団体等と協議しながら進めていきます。			
目標年度 平成28年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	市民からの寄付金を基にする事業であるので、有効的な活用を検討しながら取り組んでいきます。			
目標年度 平成28年度				

【所属長評価】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
【事業の成果】	丸岡自治区の活性化に寄与する経費	目標値	3010	達成率 0	3200	達成率 0
		実績値	3008	99.93	2567	80.22
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	中山間地域等直接支払交付金 丸岡			事業コード	06010305111
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（川上集落・新雨堂（八ヶ郷地区の一部）地区農業者）を対象としています。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）
	基本計画	農業の振興		事業種別	補助金事業（事業）
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	中山間地域等直接支払制度			
根拠例規	有	中山間地域等直接支払交付金実施要領、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				

【事業の概要】

農業生産条件が不利地域である中山間地域等において、担い手の育成等による自立的かつ継続的な農業生産活動等の体制整備及び耕作放棄地の発生を防止し、農地の多面的機能の確保を図ります。

「農業振興地域の整備に関する法律」で定める「農用地区域」にあり、1ha以上のまとまりがあり、急傾斜農用地（勾配 田1/20(5度)以上)の農用地が対象となります。集落協定又は個別協定を締結し、農業生産活動等を5年間以上継続して行う農業者等へ交付金を支出します。

- ・第3期対策(平成22年度～平成26年度)
- ・第2期対策(平成17年度～平成21年度)
- ・第1期対策(平成12年度～平成16年度)

【補助率等】 21,000円/10a（負担割合 国 1/3・県 1/3・市 1/3）
【期間】 平成22年度～平成26年度
【対象】 2地区（丸岡）
・川上地区 14,675㎡×21,000円/10a=308,175円
・新雨堂地区（八ヶ郷地区の一部） 19,852㎡×21,000円/10a=416,892円
計 34,527㎡ 725,067円

○負担金、補助金及び交付金（補助金） 725千円

【事業の目的・事業の概要等】

すぐにできる改善提案	国の制度見直しによる事業の推進を図る。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	継続中。
中長期的に取り組むべき改善提案	農業従事者の高齢化と農業離れが進む中、後継者育成が重要となっている。
目標年度 平成26 年度	
取組状況	後継者育成に努めるよう指導していく。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	農業費	目	農業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	725 千円	725 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	725 千円	725 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.09 人	640 千円	0.09 人	640 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.09 人	640 千円	0.09 人	640 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	1,365 千円	1,365 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	国県支出金	483 千円	483 千円	千円	千円	千円	千円	
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
その他			千円	千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源		882 千円	882 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	1,365 千円	1,365 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	農業離れが進んでいる中、傾斜のある農地など、遊休農地とならないよう継続的に支援していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	国、県からの補助事業となっているため、現状どおり実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成26	年度を目安
判断事由	国、県からの補助を受け、現状のまま実施していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	---	年度を目安
判断事由	現状のままを維持していきます。			
すぐにできる改善提案	継続して事業を推進していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	農業従事者の高齢化に伴う農業離れが進行しているため、後継者育成計画が必要となっています。			
目標年度 平成26 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果 協定数	件	目標値	2	達成率 2	達成率 2	達成率 1
		実績値	2	100	2	100
活動 対象面積	㎡	目標値	34527	達成率 34527	達成率 46339	達成率 15088
		実績値	34527	100	34527	100
活動 耕作放棄地面積	㎡	目標値	0	達成率 0	達成率 0	達成率 0
		実績値	0	0	0	---
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

事務事業名	林業事務事業 丸岡			事業コード	06020105101
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（林業従事者、林道利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	業務の一部を委託	委託内容	林道開設負担金
根拠法令	無				
根拠例規	有 坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	市の林業振興を推進するための業務に必要な経常経費及び各種林業関連団体への負担金事業実施により、林業全般にわたって振興を図っています。				
	林業振興に伴う事務費、関係機関への負担金及び県営事業負担金等を支出します。				
事業の目的・事業の概要等	○需用費 84千円 ・事務用消耗品、書籍購入用消耗品 ・燃料費 ○負担金、補助金及び交付金 4,036千円 ・林業関係各種団体負担金 3,788千円 うち 劔ヶ岳線開設負担金 3,600千円 劔ヶ岳線開設負担金(繰越明許費) 1,400千円 ・森林組合労務退職金共済事業費補助金 248千円 ◆主たる負担金 県営林道開設事業森林基幹道劔ヶ岳線の概要 坂井市丸岡町山竹田地係からあわらし市牛ノ谷地係へ通じる基幹林道開設事業 【事業工期】 平成10年度～平成26年度(予定) 【事業実施主体】 福井県 【延長計画】 全体L=23,130m 幅員W=5.0m (坂井市L=7,650m あわらし市L=15,473m) 【進捗】 全体L=18,113m (78.3%) H25年度末 坂井市 L=7,281m (95.1%) あわらし市L=10,832m (70.0%) 【負担割合】 事業費の1/10				

【事業の概要】

【事業のコスト】

【事業の成果】

すぐにできる改善提案	負担金の内容を精査し、見直していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	基幹林道の工期が26年度となっているが、財政事情等により延長が見込まれるため、県と協力しながら事業を推進していきます。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業総務費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		需用費	83 千円	107 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		その他	14,086 千円	15,584 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費合計	14,169 千円	15,691 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	人件費	正職員	0.56 人	3,981 千円	0.56 人	3,981 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.56 人	3,981 千円	0.56 人	3,981 千円	人	千円	人	千円
		総事業費	18,150 千円	19,672 千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
地方債	13,500 千円		15,200 千円	千円	千円	千円	千円			
その他	80 千円		千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	4,570 千円		4,472 千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	18,150 千円	19,672 千円	千円	千円	千円	千円				

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基幹林道の開設や林業振興を推進するために必要な事業であるので、継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	基幹林道を開設している途中なので、このまま継続していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	県が林道を開設し、経費の1/10を市が負担するため、現状のまま維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状のまま継続していきます。			
すぐにできる改善提案	各団体に対する負担もあるので、負担金の内容を精査し見直していきます。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	基幹林道開設事業の事業工期は26年度完成の予定ですが、工期内に完成するように事業実施主体の県と協力しながら事業を推進していきます。			
目標年度 平成29 年度				

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	伐採届出件数	目標値	20	達成率 40	24	達成率 40
		実績値		11	27.5	24
活動	伐採届出件数	目標値	20	達成率 40	24	達成率 40
		実績値		11	27.5	24
活動	森林整備事業計画数	目標値	1	達成率 1	1	達成率 1
		実績値		1	100	1
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				
		目標値		達成率		達成率
		実績値				

事務事業名	林道維持管理事業 丸岡			事業コード	06020205101		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子		
事業対象	市民（林業従事者、森林所有者）が対象です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（義務的なもの）		
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業		
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容			
根拠法令	無						
根拠例規	有 福井県農林水産部県産材活用課・森づくり課所管補助金等交付要綱 森林組合労働退職金共済事業補助金						
関連計画・マニュアル	無 坂井市森林整備計画						
事業の概要	森林機能の確保と森林資源の活用保全に資する森林内の作業を容易にするため、林道の適正な維持管理を行います。						
	<p>県単林道事業（補助事業）に該当しない軽微な修繕や改良事業により、林道の適正な維持管理を行い、林業従事者などの利用者の交通の利便性の向上と安全対策を図っています。</p> <p>【林道数】 29路線 【総延長】 54.460m(平成24年度末現在) 【業務内容】 林道維持管理 ・ 随時、巡回の実施 ・ 特に大雨や台風、雪解け後の巡回による維持管理 ・ 林道路面の補修工事、落石防止のための法面工事など</p> <p>○委託料 54千円 ・ 工事積算システム保守点検委託料 ○使用料及び賃借料 107千円 ・ 電算システムリース料 ○工事請負費 2,536千円 ・ 土砂崩れ、路面洗掘、林道案内看板修繕 など</p>						

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐに行える改善提案	林道は林業事業者にとって交通・運搬の手段として重要であり、最近では観光的にも脚光を浴びるようになってきており、日常的かつ継続的な維持管理が必要です。風雨雪による荒廃箇所を早期復旧工事、定期的な林道巡回、倒木・落石除去等を継続的な管理を行っています。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	維持管理の継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	林道の総延長が53kmに及び、林道利用者にとって交通の手段として重要であり日常的かつ継続的な維持管理が必要です。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	53 千円	53 千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,643 千円	1,886 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,696 千円	1,939 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.42 人	2,986 千円	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.42 人	2,986 千円	0.40 人	2,844 千円	人	千円	人	千円
	総事業費	5,682 千円	4,783 千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円			
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円				
その他		千円	千円	千円	千円	千円				
一般財源		5,682 千円	4,783 千円	千円	千円	千円				
財源合計		5,682 千円	4,783 千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	森林機能の確保等のため、林道の維持管理についてこのまま継続していきます。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	公共性の事業であるため、現状通り実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	林道の維持管理のため現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐに行える改善提案	定期的に林道を巡回し、倒木・落石除去等を実施します。			
目標年度 平成29 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	林道の総延長が53kmに及び、職員減員の中維持管理に支障をきたしているため、臨時的に作業員を確保する必要があります。			
目標年度 平成29 年度				

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	林道維持補修費	千円	目標値 3,500 達成率 1500 達成率	1500 達成率 1,500 達成率	1002 達成率	
		実績値 2,442 69.77	1779 118.6	1,471 98.07	1002 100	
活動	林道維持補修費	千円	目標値 3,500 達成率 1500 達成率	1,500 達成率 1,500 達成率	1002 達成率	
		実績値 2,442 69.77	1779 118.6	1,471 98.07	1002 100	
活動	林道草刈り延長 平成21年度～23年度	km	目標値 0 達成率 0 達成率	0 達成率 52 達成率	52 達成率	
		実績値		0	52 100	52 100
活動	林道補修件数	件	目標値 10 達成率 10 達成率	10 達成率 10 達成率	12 達成率	
		実績値 10 100	7 70	7 70	12 100	
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			
			目標値	達成率	達成率	達成率
			実績値			

事務事業名	森林整備事業 丸岡			事業コード	06020205111		
所管部署	地域振興課（丸岡支所）		電話	68-0801		記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民(山林所有者)が対象者です。						
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり			事業区分	自治事務（任意的なもの）	
	基本計画	林業の振興			事業種別	補助金事業（事業）	
実施主体	市	実施手段	市が直接実施		委託内容		
根拠法令	有	森林法第10条の5					
根拠例規	有	坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱					
関連計画・マニュアル	無	坂井市森林整備計画					
事業の概要	森林の持つ多様な機能を維持するために、森林の整備を行ないます。森林を良好な状態で維持することで、上流地域から下流地域の市民の居住環境の維持向上が図られています。						
	【森林整備の概要】 森林の機能を林班毎に区分し、区域に応じた森林整備を行います。 ① 伐採・造林・保育その他森林の整備に関する基本的な事項 ② 立木竹の伐採に関する事項 ③ 造林に関する事項 ④ 間伐を実施すべき標準的な林齢、間伐・保育の標準的な方法及び基準 ⑤ 要間伐森林の所在並びに実施すべき間伐及び時期に関する事項 ⑥ 作業路網その他森林の整備のために必要な施設の整備に関する事項						
	【事業実施主体】 坂井森林組合 【平成25年度事業実績】 ① 造林 0.10ha ② 雪起し 14.28ha ③ 下刈 19.31ha ④ 除伐 4.60ha ⑤ 枝打ち 2.55ha ⑥ ぬき伐 79.14ha ⑦ 作業路開設 10,772m						
	【補助補率】 ・市補助率は、事業費の3～6%以内 ・別途国30%、県20%が実施主体へ直接交付 ○補助金 7,772千円						

予算	款	農林水産業費		項	林業費		目	林業振興費	
		平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
コスト	事業費	報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	7,771千円	5,054千円	千円	千円	千円	千円	千円
		事業費合計	7,771千円	5,054千円	千円	千円	千円	千円	千円
	人件費	正職員	0.13人	924千円	0.13人	924千円	人	千円	人
	臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.13人	924千円	0.13人	924千円	人	千円	人	千円
	総事業費	8,695千円	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		地方債	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
	一般財源	8,695千円	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	財源合計	8,695千円	5,978千円	千円	千円	千円	千円	千円	

指標名		単位	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
成果	補助件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1
			実績値	1	100	1	100	1	100	1
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

すぐに行ける改善提案	森林整備は、地球温暖化への対応を図るうえでも現状を維持し、業務を継続する必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	森林整備は、現在の地球温暖化への対応を図るうえでも現状を維持し、業務を継続する必要があります。国・県と一体となり、市森林整備計画に基づき総合的な事業の推進を継続的にを行い、森林の良好な維持に努めていく必要があります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

事業の方向性	このまま継続します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	地球温暖化及び水資源確保の上でもこのまま継続します。				
実施主体の方向性	現状どおり実施します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	市の事業のため現状どおり実施します。				
コスト投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。				
人員投入の方向性	現状を維持します。		目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。				
すぐに行ける改善提案	地球温暖化防止や水資源確保のため事業を継続します。				
目標年度 平成29 年度					
中長期的に取り組むべき改善提案	市森林整備計画に基づき、森林の持つ多様な機能を維持するための整備を実施していきます。				
目標年度 平成29 年度					

成果	補助件数	件	目標値	1	達成率	1	達成率	1	達成率	1
			実績値	1	100	1	100	1	100	1
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							
			目標値		達成率		達成率		達成率	
			実績値							

事務事業名	森林整備地域活動支援交付金事業 丸岡			事業コード	06020205116
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（森林所有者）を対象とします。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	ソフト事業
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	有 県農林水産部県産材活用課森づくり課所管補助金等交付要綱（森林整備地域活動支援交付金）、坂井市産業経済部農林水産部所管補助金等交付要綱 坂井市森林整備地域活動支援事業費補助金交付要綱				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	適切な森林整備の推進を通じて森林の多面的機能の発揮を図る観点から、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林の施業が適時適切に行われるよう、その実施に不可欠な地域における活動を確保するために支援措置として交付金を交付します。				
	森林活動支援交付金制度は、森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、林業者等による森林施業の集約化に必要な「施業集約化の促進」及び「作業路網の改良活動」などを支援する事業です。				
事業の目的・事業の概要等	【事業実施者】 坂井森林組合				
	【対象事業】 ・施業集約化の促進 114.00ha ・作業路網の改良活動 1,108.15ha				
事業の目的・事業の概要等	【補助率】 国費1/2 県費1/4 市費1/4				
	○補助金 2,990千円				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

すぐにできる改善提案	優良な森林を形成し森林環境を保持することは、自然環境に多大な影響を与え、市民生活を保持する上で有効な事業です。小規模な森林所有者が多いため、個人で造林、伐採、保育などを実施し、良質材の生産を目指すことは難しいため、森林整備を図るための集約化を促進する必要があります。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	優良な森林を形成し森林整備を保持することは、事前環境に多大な影響を与え、市民生活を保持する上で有効な事業です。この事業を通じて作業路を整備し、施業を集約化することで効率的な森林整備が図られ、森林機能の維持を図ることができます。		
目標年度 平成28 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		委託費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	2,990 千円	9,677 千円	千円	千円	千円	千円		
		事業費合計	2,990 千円	9,677 千円	千円	千円	千円	千円		
	人件費	正職員	0.12 人	853 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.12 人	853 千円	0.13 人	924 千円	人	千円	人	千円
	事業費	総事業費	3,843 千円	10,601 千円	千円	千円	千円	千円		
		特定財源	2,243 千円	7,257 千円	千円	千円	千円	千円		
		国県支出金	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
分担金・負担金		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
地方債		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
その他		千円	千円	千円	千円	千円	千円			
一般財源	1,600 千円	3,344 千円	千円	千円	千円	千円				
財源合計	3,843 千円	10,601 千円	千円	千円	千円	千円				

【事業のコスト】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	国・県・市の補助を受けて事業を実施するため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状通り実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	現事業内容を継続し推進します。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	森林整備を図るため、施業の集約化を推進する必要があります。			
目標年度 平成28 年度				

【事業の成果】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
成果	協定数	件	目標値	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100
活動	協定数	件	目標値	2	達成率	2	達成率
			実績値	2	100	2	100
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				
			目標値		達成率		達成率
			実績値				

事務事業名	地域を活かす特産品振興事業 丸岡			事業コード	06020205146
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民(山菜生産組合員)が対象です。				
総合計画	基本構想	地域の活力を創造するまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	林業の振興		事業種別	補助金事業（団体）
実施主体	その他	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無				
根拠例規	無	福井県地域を活かす特産品振興事業実施要領、坂井市産業経済部農林水産課所管補助金等交付要綱			
関連計画・マニュアル	無				
【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	地域の資源である特産品を伝統技術の伝承などにより再興し、地域の活性化を図ることを目的とする。				
	【対象】	みどりぜんまい(坂井市)			
	【事業内容】	ソフト事業 ビジョン作成、各種調査、商品開発等に関する経費 ハード事業 基盤整備(歩道整備)、施設整備に要する経費			
	【事業主体】	竹田山菜生産組合			
【実施期間】	平成24年度から平成26年度(3年間)				
【補助率】	補助対象事業費の県1/2、市1/10 事業費の上限 3,000千円(事業期間3ヵ年以内)				
○補助金	460千円				

すぐにできる改善提案	特用林産物である「みどりぜんまい」の生産では、後継者の育成や生産技術の伝承、生産基盤の整備など大きな課題を抱えており、経済的事情や自主的な活動に不安を持っている生産組合に対し、県と連携し地域の活性化を図ります。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		
中長期的に取り組むべき改善提案	高齢化が進んでいる生産組合は、後継者の育成や生産技術の伝承が大きな課題です。また、作業効率の良い生産基盤の整備が必要です。市では生産組合に対し、県と連携し計画的に地域の活性化を図っています。		
目標年度 平成29 年度			
取組状況	継続中です。		

【前年度改善案に対する取組状況】

【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A	
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A	
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

予算	款	農林水産業費	項	林業費	目	林業振興費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円				
			委託費	千円	千円	千円	千円				
			需用費	千円	千円	千円	千円				
			役務費	千円	千円	千円	千円				
			その他	460 千円	636 千円	千円	千円				
			事業費合計	460 千円	636 千円	千円	千円				
			人件費								
			正職員	0.18 人	1,280 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00 人	千円	0.00 人	千円	人	千円	人	千円
	人件費合計	0.18 人	1,280 千円	0.19 人	1,351 千円	人	千円	人	千円		
	総事業費	1,740 千円	1,987 千円	千円	千円						
	事業費	特定財源	国県支出金	384 千円	530 千円	千円	千円				
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円				
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円				
地方債			千円	千円	千円	千円					
その他			千円	千円	千円	千円					
一般財源			1,356 千円	1,457 千円	千円	千円					
財源合計			1,740 千円	1,987 千円	千円	千円					

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	竹田地区の活性化のため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	竹田地区の活性化のため、現状通り実施します。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	--	年度を目安
判断事由	現状を維持します。			
すぐにできる改善提案	県と連携し、竹田地区の活性化を図るため支援していきます。			
目標年度 平成26 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	組合員の高齢化が進み、後継者育成が最大の課題となっています。			
目標年度 平成26 年度				

【所属長評価】

成果	指標名	単位	年度	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度	
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
成果	ぜんまい生産量			1,800	達成率	1,800	達成率		達成率		達成率
				実績値		1,920	106.67				
活動	ぜんまい生産量	kg		1,800	達成率	1,800	達成率		達成率		達成率
				実績値		1,920	106.67				
活動	歩道整備延長	m		300	達成率	400	達成率		達成率		達成率
				実績値		440	110				
活動	イベント・学習会等開催	回		2	達成率	2	達成率		達成率		達成率
				実績値	2	100	2	100			
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
				実績値							
				目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率	目標値	達成率
				実績値							

【事業の成果】

事務事業名	まちかど公園管理運営事業 丸岡			事業コード	07010510141
所管部署	地域振興課（丸岡支所）	電話	68-0801	記入者名	高橋 サヨ子
事業対象	市民（観光客、施設利用者）が対象です。				
総合計画	基本構想	地域全体でもてなすまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	観光資源の個性と魅力づくり		事業種別	指定管理者事業
実施主体	指定管理者	実施手段	業務の全部を委託	委託内容	有料駐車場及び付属設備の維持管理
根拠法令	無				
根拠例規	無				
関連計画・マニュアル	無				
事業の概要	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場は、丸岡町内の商店街や日本最古の丸岡城に近い位置に設置されているため、商店街を利用する市民や観光客が快適で安全に利用できるよう駐車場の適正な管理運営を行います。				
	丸岡まちかど公園駐車場とお天守前駐車場の両駐車場は、パーキングメーターによる有料駐車場で、機器の保守管理と付帯施設の維持管理業務を指定管理により委託しています。				
事業の目的・事業の概要等	【指定管理先】 財団法人 坂井市公共施設等管理公社				
	【指定期間】 平成25年4月1日～平成30年3月31日 5年間				
	【施設概要】 ①丸岡まちかど公園駐車場 所在地 坂井市丸岡町富田町1丁目1 766.18㎡ 駐車台数 12台 付属施設 公衆トイレ ②お天守前駐車場 所在地 坂井市丸岡町霞町1丁目31 497.36㎡ 駐車台数 12台 付属施設 お天守前公園				
	○役務費 6千円 ・まちかど公園公衆トイレ火災保険料 ○委託料 892千円 ・指定管理委託料				

【事業の概要】

事業の目的・事業の概要等

【事業のコスト】

予算	款	商工費	項	商工費	目	観光施設費				
コスト	事業費	平成25年度		平成24年度		平成23年度		平成22年度		
		報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		委託費	892千円	1,100千円	千円	千円	千円	千円		
		需用費	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
		役務費	5千円	5千円	千円	千円	千円	千円		
		その他	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	897千円	1,105千円	千円	千円	千円	千円			
	人件費	正職員	0.13人	924千円	0.08人	569千円	人	千円	人	千円
		臨時職員	0.00人	千円	0.00人	千円	人	千円	人	千円
		人件費合計	0.13人	924千円	0.08人	569千円	人	千円	人	千円
	総事業費	1,821千円	1,674千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	千円	千円	千円	千円			
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円			
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円			
地方債			千円	千円	千円	千円				
その他			千円	千円	千円	千円				
一般財源		1,821千円	1,674千円	千円	千円					
財源合計	1,821千円	1,674千円	千円	千円						

【事業の成果】

指標名	単位	年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度	
成果	駐車場利用台数	目標値	4500	達成率 4,500	達成率 3,800	達成率 3,800	
		実績値	---	4829	107.31	4,757	125.18
活動	駐車場利用台数	目標値	4500	達成率 4,500	達成率 3,800	達成率 3,800	
		実績値	---	4829	107.31	4,757	125.18
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					
		目標値		達成率	達成率	達成率	達成率
		実績値					

すぐにできる改善提案	利用者の便を図るべく保守点検を行いながら維持管理を行っています。しかし、施設の老朽化に伴い、施設整備の更新または施設のあり方を検討する必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	施設整備後10年以上が経過し、老朽化が進行しています。施設の保守点検を随時実施しながら、維持管理を行っています。
中長期的に取り組むべき改善提案	施設整備後10年以上が経過し老朽化が進んでいるため、更新の検討をする必要があります。
目標年度 平成29 年度	
取組状況	城周辺にある施設ということで、総合的に整備計画を行う必要があり、検討中です。

【前年度改善案に対する取組状況】

妥当性	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	A
効率性	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
有効性	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A

【担当者評価】

【所属長評価】

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	観光客や市民が利用する観光施設に近い駐車場であるので、指定管理先を坂井市公共施設等管理公社として継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	指定管理制度にて、現状通り実施していきます。			
コスト投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
人員投入の方向性	現状を維持します。	目標年度	平成30	年度を目安
判断事由	現状のまま維持していきます。			
すぐにできる改善提案	施設が老朽化してきたが、保守点検を行いながら維持管理を行っていきます。			
目標年度 平成28 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	施設の老朽化が進んでいるため、更新の検討をする必要があります。			
目標年度 平成28 年度				